

【添付資料：調査レポート(旅行先での過ごし方、本音と建前ギャップ調査)】

主な分析結果：

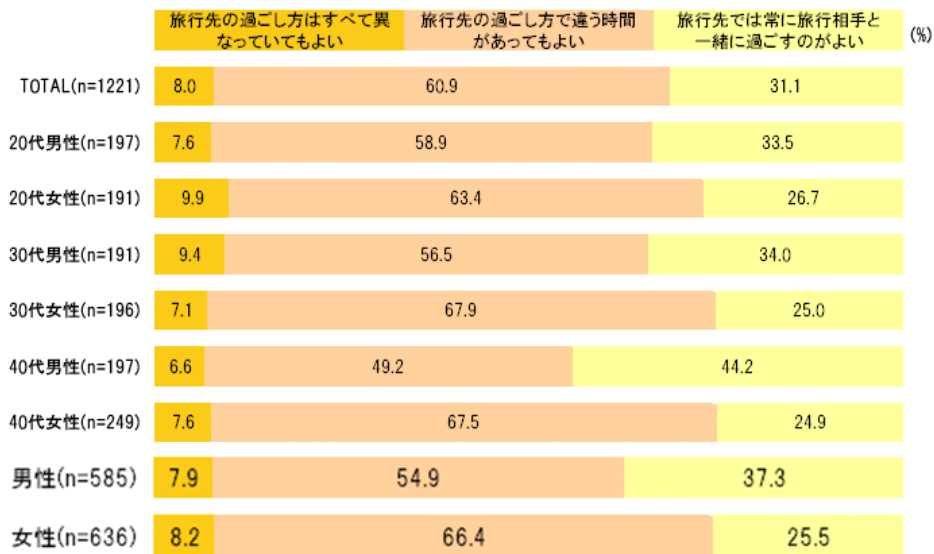
- 10人のうち7人は、必ずしも旅行先で同行者と一緒に過ごさなくてもよいと考えている。旅行先での過ごし方は旅行相手とすべて異なってもよいと答えた人は10人のうち1人
- 男女別に見ると、旅行先での別行動支持派は、世代を問わず男性より女性に多く、特に40代では男性は約半数の人が一緒に過ごしたいと考えているのに対し、女性は75%以上が別々に過ごしてもよいと考えている
- 旅行の行き先の決定権は旅行相手がもっていると答えた人が57.9%。30代をみると、男女とも約3割の人が、母・妻・彼女、父・夫・彼氏が決定権をもち、相手の意見を尊重している。既婚者と未婚者の比較では、自分で決めた割合は、既婚者が50.9%に対し未婚者が65.1%と、未婚者は自分の意見を通す割合がやや多い
- 実際の旅行が自分の希望通りだったかどうかについては、「行き先が希望通りでなかった」が約13%、「旅行先での過ごし方が希望通りでなかった」が約17%、「時期が希望通りでなかった」が約17%。特に40代の女性は自分の希望と一致していないことが多く、旅行先や時期が希望通りでなかったとの回答は20%以上
- 旅行先での過ごし方で人気があるのは、家族旅行の場合、夏祭りや花火大会、テーマパークや遊園地、海や山でアクティビティが10%以上。恋人・夫婦の旅行の場合、夏祭りや花火大会、ショッピングが10%以上。友人との場合、海や山でのアクティビティ、ショッピングが9%以上
- 一人旅をしている人、または旅行をしていない人は全体の2割弱

調査実施概要：

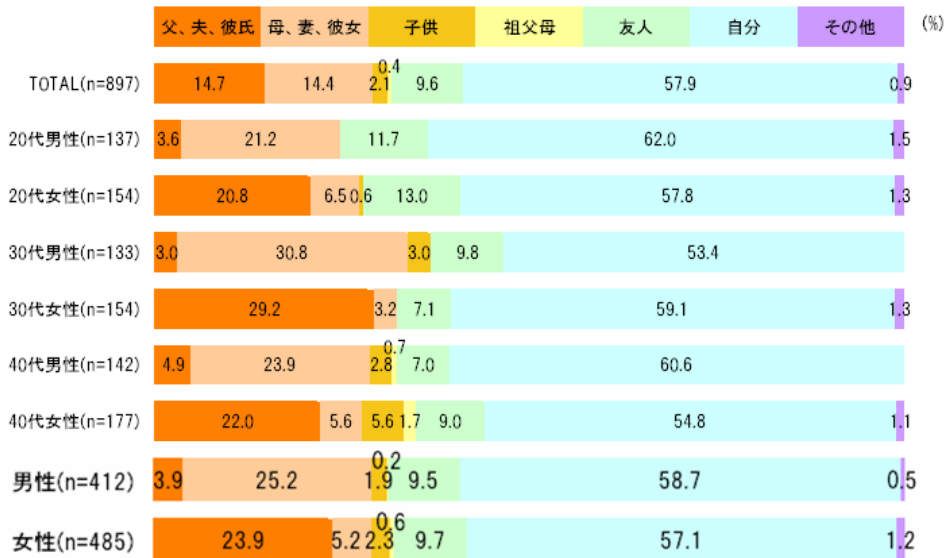
1. 調査対象、調査方法：Yahoo!リサーチ登録モニター、非公開型インターネット調査
2. 調査期間：平成20年7月4日(金)～平成20年7月8日(火)
3. 有効回答者数と回答者の属性：1,221名、ビジネスパーソン
【年齢】20-29歳31.8%、30-39歳31.7%、40-49歳36.5%、【性別】男性47.9%、女性52.1%

調査結果データ:

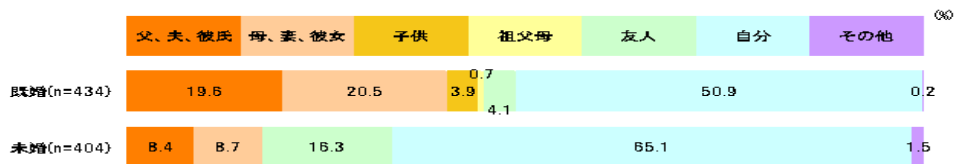
【旅行先で旅行相手と別行動で異なる楽しみ方(過ごし方)をしてもよいか】



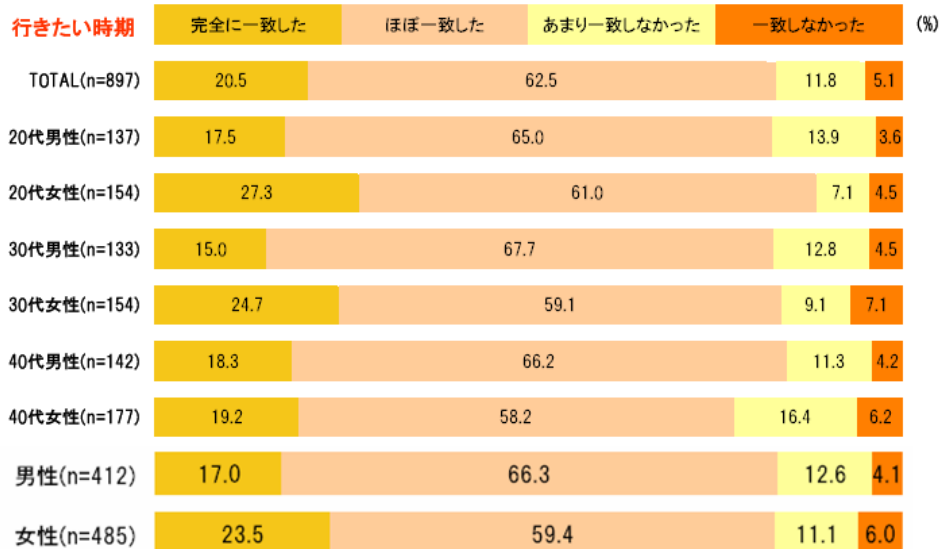
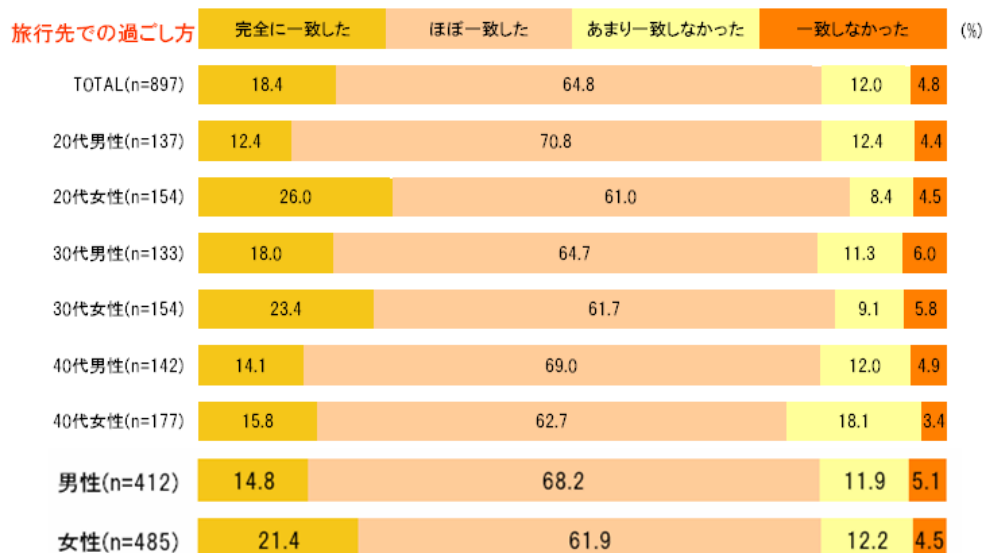
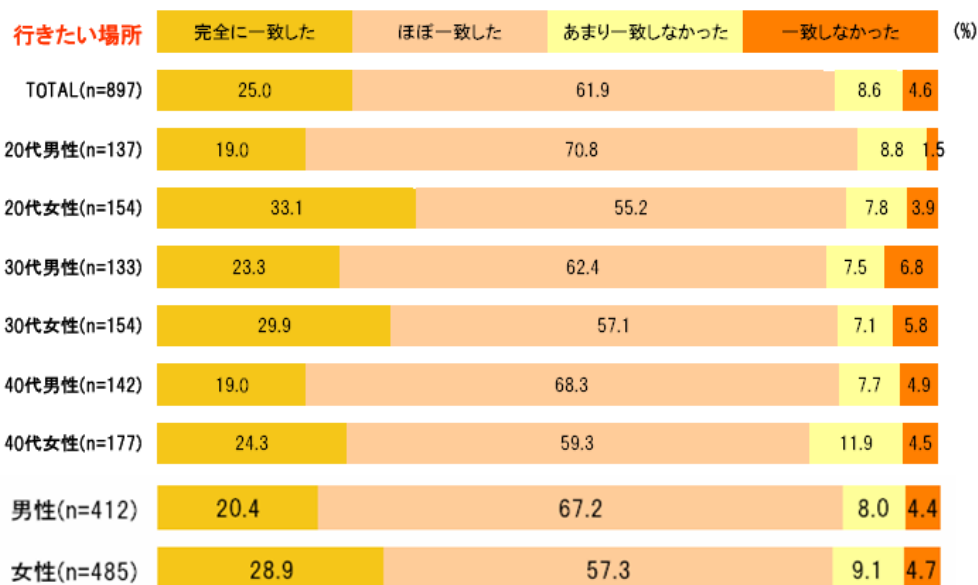
【最近の夏旅行で、行き先を決めた人】



【最近の夏旅行で、行き先を決めた人(既婚 対 未婚)】

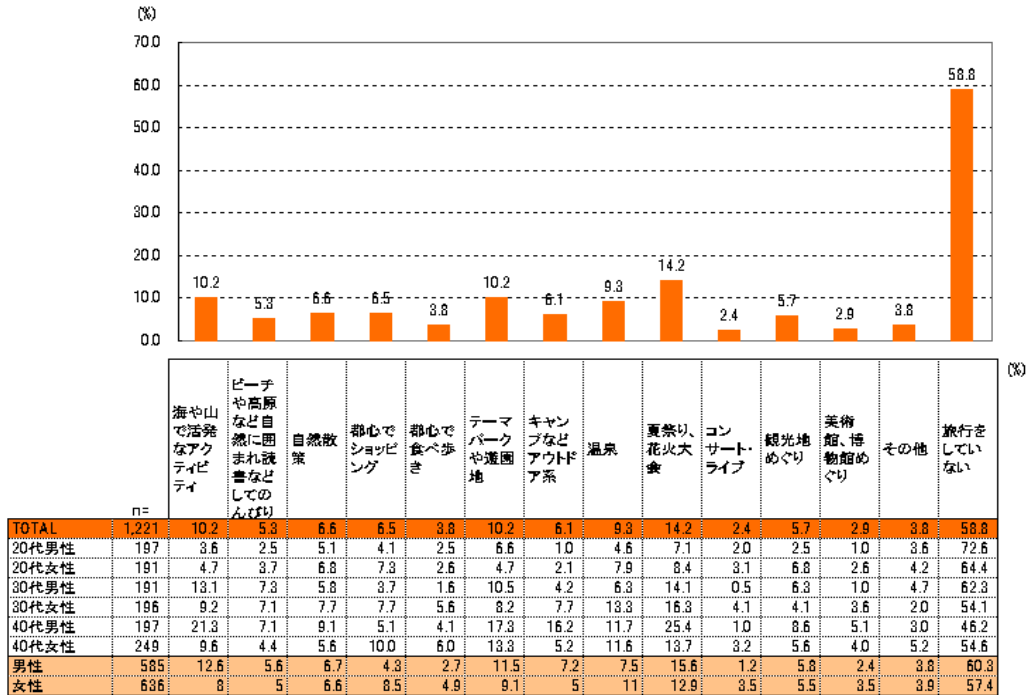


【最近の夏の旅行で、あなたの希望する夏休みの過ごし方と実際の過ごし方の違い】

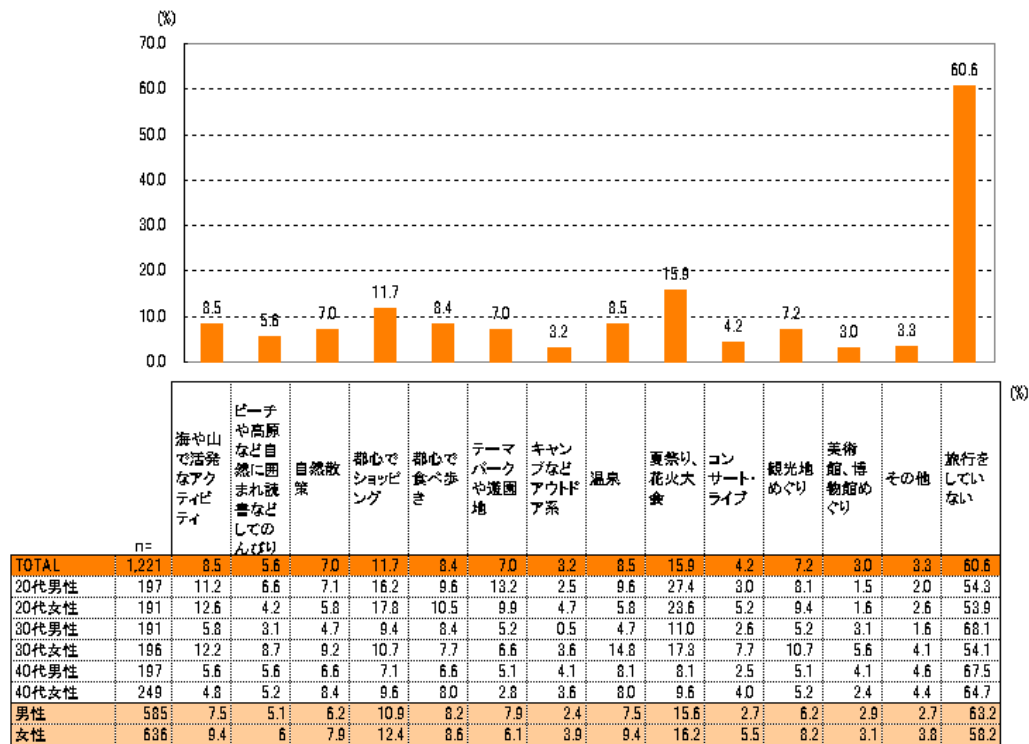


【最近の夏の旅行でしたこと】

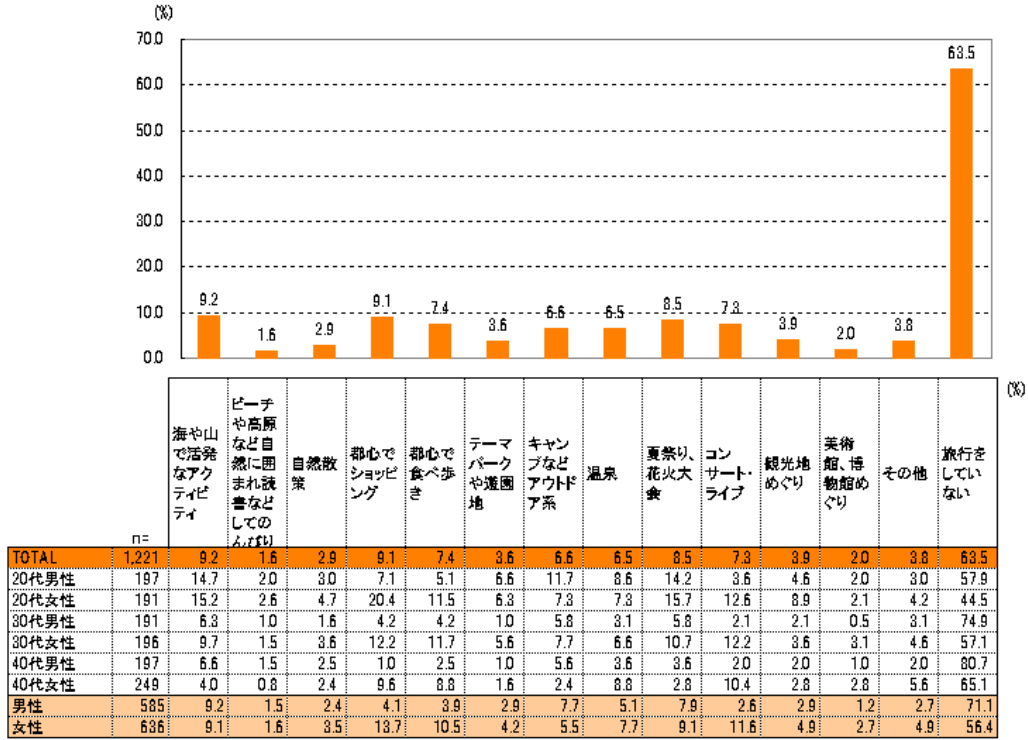
旅行相手: 家族



旅行相手: 恋人・夫婦



旅行相手:友人



旅行相手:なし(一人旅)

